



校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

緊急時の対応 弾道ミサイル発射に備え

北朝鮮が弾道ミサイル発射 日本上空通過 2千キロ超

政府によると、北朝鮮は日本時間の29日午前5時58分、弾道ミサイルを北東方向に発射した。ミサイルは6時6分ごろ北海道・襟裳岬上空を通過、12分ごろ、襟裳岬の東1180キロの太平洋上に落下した。韓国軍合同参謀本部によると、ミサイルは北朝鮮の首都平壤の順安区域付近から発射され、約2700キロ飛行した。日本政府は北朝鮮に嚴重抗議。菅義偉官房長官は記者会見で「これまでにない深刻かつ重大な脅威だ」と非難した。日米韓の防衛当局が分析を急いでいる。(秋田魁電子版より)

8月29日(火)の朝6時頃、全国瞬時警報システム(Jアラート)による「緊急エリアメール」が鳴りました。すぐにテレビやラジオでも「緊急速報」が流れ、日本中に緊張感が走りました。ミサイルは日本本土を越えて海上に落下し、今のところ被害の報道もなく、事なきを得ましたが、これからの備えをしっかりとしなければならないと改めて強く感じました。

本校でも今朝すぐに職員打合せを行い、「授業中」「休み時間」「放課後の部活中」「休日の部活中」「登校時」など、色々な場面を想定してどう避難するか確認をしました。

【授業中】(全校一斉放送で「ミサイル発射」を伝える)

- 教室の窓を閉め、カーテンも閉める。
- 窓際から離れ、壁側に移動する。
- 授業を中断し、放送による指示を待つ。(一次避難)
- ◎理科室と家庭科室で実習中の場合はまず火を止める。その後体育館へ避難する。
- ◎音楽室・技術室・美術室・コンピュータ室では窓とカーテンを閉め、窓から離れる。
- ◎体育館では壁際に避難する。
- ◎グラウンドなど外部にいる場合は速やかに体育館に移動する。
- ◎B & Gのプールで水泳時は、すぐにプールから上がり建物内に避難し、安全が確認された後から教員の引率で学校に戻る。
- 状況によって机に潜り、頭部を保護する。(二次避難)

【休み時間中】

- 近くの教室に入る。(理科室や調理室には入らない)
- 窓から離れて壁際に避難する。(一次避難)
- 状況によって頭部を保護する。(二次避難)

- 【放課後の部活動中】（全校一斉放送で「ミサイル発射」を伝える）
- 全員体育館へ避難する。（一次避難）
 - 状況によって頭部を保護する。（二次避難）

- 【休日の部活動中】（部活担当者の指示を受けて）
- 全員体育館へ避難する。（一次避難）
 - 状況によって頭部を保護する。（二次避難）

- 【登下校時】
- 国民保護サイレンが流れたら、近くのできるだけ頑丈な建物に避難する。
 - 近くに適当な建物が無かったら物陰に隠れるか、地面に伏せ頭部を守る。

- 【家を出ようとする時に緊急放送が流れた場合】
- 自宅で避難・待機し、安全が確認されてから登校する。

- 【もしも、近くにミサイルが着弾した場合】
- 閃光を見ないようにする。
 - 屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、室内を密閉する。
 - 屋外にいる場合は口と鼻をハンカチなどで覆い、現場から直ちに離れ、建物に逃げるか風上に避難する。

以上、「国民保護ポータルサイト」などからの情報を参考にして、由利中の弾道ミサイル落下時の避難行動についてまとめてみました。今後生徒にも周知徹底を図って参ります。「緊急地震速報」と比べ時間的にはいくらか余裕がありますので、学校にいる場合は担当職員の指示にしたがって安全確保に努めて参ります。

また、生徒が学校に来ている時間帯は、学校の建物は一般住宅より堅牢ですし避難場所もありますので、もしも地域内の「安全確認」ができないうちは、生徒は下校させず「学校待機」となります。連絡網が寸断されても「子どもは学校にいる」と判断し、迎えに来て下さい。

最も心配なことは「着弾することはないだろう」と考え、速やかに避難行動をとらないこと、そして万が一有事が発生した時、デマや風評など情報が正確に伝わらずパニックを起こしてしまうことです。みんなでそのようなことにならないよう十分心がけていきたいと思えます。



弾道ミサイル落下時の 行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動
②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。

国民保護ポータルサイト

武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/shiyoubu/hogo_manual.html

ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai

Jアラート (例)直ちに避難。直ちに避難。直ちに頑丈な建物や地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら
落ち着いて、直ちに行動してください。

●

**屋外に
いる場合**

**できる限り頑丈な建物や
地下に避難する。**

地下：地下街や地下駅舎などの地下施設

●

**建物が
ない場合**

**物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。**

●

**屋内に
いる場合**

**窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。**

近くに
ミサイル
落下!

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。